

重点分野2 (中目標)	脆弱性の克服											
開発課題2-1 (小目標) 教育機能強化	【現状と課題】 ツバルでは、高等教育及び就業の機会が非常に限られるため、優秀な人材のほとんどが海外に流出し、人材不足を招いている。さらに、ほとんどの教員が教員養成課程を履修していないため、教員の指導力が不十分であると同時に、教員職の給与が相対的に低いため、他業種や海外への人材流出が顕著である。					【開発課題への日本の対応方針】 新教育協力政策2011-2015を念頭に、ツバル国内で高等教育が継続して受けられるよう、教育施設及び体制の整備を支援する。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	島嶼・遠隔地教育 支援プログラム	ツバルにおける人材育成を支援するため、教育施設の整備を行う。	モトフォウア高等教育施設整備計画	無償							6.92	
			初等教育理科関連連続課題別研修	課題別研修他								
開発課題2-2 (小目標) 保健医療サービスの 向上	【現状と課題】 ツバルにおいては、フィラリア等の感染症及び糖尿病、高血圧といった非感染性疾患(NCD)が、主要な疾患、死亡原因となっており、その予防対策の強化が課題となっている。また、保健人材の能力強化も課題となっており、ツバル保健省は2009-2019年長期計画を策定し、関係ドナー、NGOとの連携を図りつつ、保健医療サービスの向上に資する地域医療、保健事業を展開している。					【開発課題への対応方針】 保健医療分野では、国際保健政策2011-2015を踏まえた取り組みを行なう。感染症対策として、フィラリア迅速検査キットの供与、非感染症対策として、本邦課題別研修を実施する。さらに、草の根レベルで保健医療施設の整備・改善等を行い、保健医療サービスの向上を支援する。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	島嶼型保健医療プ ログラム	感染症及びNCDに関する支援を実施するとともに、質の高い保健サービス提供に資する支援を行う。	感染症対策医療特別機材(フィラリア)	個別機材								
			保健医療関連課題別研修	課題別研修他								
離島診療所整備			草の根無償									

<p>開発課題2-3 (小目標) 経済活動の拡大</p> <p>経済インフラ整備・維持管理能力強化プログラム</p>	<p>【現状と課題】 極度の拡散性、狭隘性、遠隔性を有するツバルは、自国単独の発展が難しく、海運を中心としたインフラの整備及び維持管理が課題となっているが、政府の財政規模も小さいことから、独自での対応が難しい。また、インフラの維持管理のために必要な技術を有する人材に限られていることから、インフラの維持管理を行うことが困難である。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 拡散性、遠隔性を補うため、運輸・通信関連インフラを中心に支援を実施するとともに、これまでに実施したハード支援に関連する分野でのソフト支援をおこなう。</p>								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度		
		<p>同国の経済・社会基盤となるインフラ整備への資金協力を検討すると共に、各種インフラの維持管理に関する能力を強化する。</p>	中波ラジオ放送網整備計画	無償							8.10	
			貨物旅客兼用船建造計画準備調査	協準								
			貨物旅客兼用船建造計画	無償							15.44	
			広域船舶維持管理アドバイザー	個別専門家								
			インフラ整備・維持管理能力強化関連研修	課題別研修他								
			南南協力実施能力強化プロジェクト	個別専門家								広域(フィジー拠点)
			ノン・プロジェクト無償資金協力	ノンプロ								発電用燃料
	PEC基金による淡水化装置及び太陽光発電プロジェクト		マルチ							4.00 百万 (US\$)	PEC基金	
	国際漁業振興協力事業	農林水産省技協								専門家派遣、資機材供与		
<p>開発課題2-4 (小目標) ガバナンス強化</p> <p>ガバナンス強化プログラム</p>	<p>【現状と課題】 ツバル政府は持続的開発戦略(2005-2015)を策定しているが、同戦略の下、開発課題から予算案まで含むセクター開発計画は、教育セクター以外はほとんど策定されていない。気候変動分野を中心に各国からの支援が増えることが予想される中、同国が持続可能な開発を行うためには、開発計画策定、実施、モニタリング及び援助調整に係る能力の向上が課題となっている。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 ツバルと我が国の友好関係、及び気候変動分野での同国の重要性に鑑み、引き続き同国の開発政策の策定・運営に協力する。</p>								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2013 年度 以前	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度		
	<p>個別専門家派遣を中心に、開発政策策定・運営を担う人材を育成する。</p>	開発政策アドバイザー	個別専門家									
		ガバナンス関連研修	課題別研修他									

【凡例】 「協準」(=全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協カプロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協カ)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協カ隊)、「SVJ」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術協カ(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協カ)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協カ)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協カ)、「ノンプロ」(＝ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協カ)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償)、「一般文化」(＝一般文化無償)、「草の根文化」(＝草の根文化無償)、「有償」(＝円借款)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」)、「案件化調査」および「普及・実証事業」(＝中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(＝実施期間)、「破線」(＝実施予定期間)